

2023 年 9 月 30 日

第 53 回東京鶴翔同窓会実行委員会（第 7 回）議事録

日 時：2023 年 9 月 30 日（土）14 時 00 分～16 時 30 分

場 所：日本橋公会堂 第 4 号洋室

出席者：23 名（順不同、敬称略）

役員 会長 : 坂田敬一
副会長 : 梅津準士、杉山恵子、坂田俊次、大泉正
幹事 常任幹事 : -
事務局 事務局長 : 岡部次樹
事務局次長 : 伊藤美津子、石川康博
会報編集 : 佐藤雄喜
53 回実行委員 (74) 真田充、衣笠博子、佐藤秀子、秋野裕
(84) 鈴木良清、松田豊一、三木美智、匹田秀二、中里陽一、
荒船禎子、三浦正巳
(94) 岡村佐由子(web)、長谷川操、藤田美鈴

1. 開会

2. 坂田会長挨拶

暑さ寒さは彼岸までと言って、暑さも和らいできた。総会まで 1 カ月と少しとなり、
詰めめの段階に入ってきたと思う。この状況のなかで、広告に少しミスがあったが、後
は全力で総会当日の予定に集中して、力を合わせてやっていていただきたい。
申込数がどうかは気になるが、会で動員をかけるので、皆さんよろしく願います。

3. 出席者自己紹介（初参加の方）

初参加者無し

4. 第 53 回実行委員長・鈴木良清 挨拶

暑さ寒さは彼岸までと思っていたが、コロナのほかにインフルエンザが流行している
ので、感染症対策は同じなので、引き続き対策をしっかりと体調に気を付けて臨ん
でください。

5. 議 題

実行委員会事務局より（松田豊一）

① 暫定予算案

- ・昨年同等で作成している。
- ・広告費は昨年度と同伴同額となった。広告件数は昨年度より 1 件多かったが、広告ミ

スがあり、広告費は同額となった。広告費の入金が残っているのは1件である。

- ・各部会の予算として、活動費 30 万円としている。活動費はここまでかからないと予測しているため、赤字にはならないと想定している。

② 総会・親睦会出欠状況（ハガキ、HP）

- ・総会に出席の申し込みは、昨日（9月29日（木））時点で、70件である。（ハガキが23件、HPが47件）
 - 昨年度の申込より若干少ない。
 - 届くハガキの20%程度が出席申込である。欠席でも届けがあるのは有難い。
- ・ハガキの受け取りに受取人の記名が必要で、週末しか受け取れない状況があり、タイムリーに集計できない状況がある。
 - 今後、定年延長などで実行委員が平日受け取れない状況になることも予測されるので、申込方法や受け取り方法を再検討していくことが必要かもしれない。
- ・10月9日（月）幹事会には、各学年で出欠届の状況が分かる資料を準備する。
 - 昨年は、伊藤事務局次長が、出欠届があった分の○×を学年ごとの会員名簿に入力して、パスワード付きで学年幹事に事前配信している。メールアドレスを登録していない幹事には当日紙ベースで渡した。今年も同様にする予定である。
 - 総会出欠届と会員名簿の確認（実行委員）、出欠届のHPへの掲載（伊藤事務局次長）は別々に作業している状況である。HPの出欠届は、事務局3名でダブルチェックをしている。
- ・総会当日の出席者名簿は、実行委員が作成する資料を基にして、杉山副会長が入金状況と当日支払いが分かる出席者名簿を作成する。
- ・現時点における来賓出席者は、鶴翔同窓会長、南高校長、東京事務所所長（鶴岡市長が欠席の場合は、所長が市長代理となり、東京事務所として白幡様が出席）、黎明同窓会から3名、首都圏鶴岡会から2名である。昨年よりも来賓者は多く15名程度を見込んでいる。
- ・如松同窓会は10月13日（金）に幹事会があるので、15日（日）まで出欠のご連絡をいただく。Maxで15名程度の出席者を見込んでいる。
- ・総会出席者が少なく、各学年幹事に動員依頼が必要かどうかは、10月9日（月）の幹事会で判断する。
 - 実行委員はHPの出欠届で学年の出欠届状況を確認すること。

各部会の進捗状況

① 会場部会（匹田秀二）

会場部会の進捗状況を報告と確認事項の連絡があった。

(1) 親睦会イベント

- ・庄内うたう会の歌は、うたう会で3曲選定した。
- ・じゃんけん大会は大高委員が担当で、全員でじゃんけんする企画である。景品は当日まで秘密である。
- ・「庄内百景」、「赤川花火」の利用許可依頼は実行委員が担当する。
 - 赤川花火は、鶴岡市東京事務所経由で市役所に使用許可を依頼する。
 - 庄内百景は、佐藤雄喜さんの同期生が窓口である。
- ・応援団（鶴の舞）には三木副実行委員長が参加する。
 - 例年は剣道着を着用していたが、洗濯費が高いため、今年度から空手着を着用する。自宅で洗濯可能である。
 - 空手着は東京鶴翔同窓会の持ち物とする。
- ・「庄内百景」、「赤川花火」の利用許可依頼は実行委員が担当する。赤川花火は、東京事務所経由で市役所に使用許可を依頼する。
- ・お土産を入れる手提げ袋は、鶴岡市東京事務所にて在庫がなくなったため、別途用意が必要である。
- ・会場のホテルは10月5日（木）もしくは6日（金）に、人数以外の事項を確定する予定である。

（協議事項）

- ・当日の会場受付は、昨年度は4窓口で各窓口1～2名として、6～8名が受付担当であった。今年度は、学年窓口のほかに如松会の受付もある。支援要請人員が少ないのではないか。
 - 当日は、実行委員全員が会場部会を支援する。
- ・街頭案内は有料アルバイトではなく、実行委員で手当した方がよいのではないか。
 - 実行委員で手当できる見込みがないと考えている。
 - 実行委員のみでなく、実行委員の学年で当日のみ参加する人に依頼する方法もあるのではないか。
 - 事前に84回、94回の会場部員が同学年の会員に打診している。返事がない状況で、当日参加するかどうか不明である。
 - 完全な部外者に依頼するのか。昨年は同期生でなくとも、同窓生に依頼した。
 - 94回生が勤めている大学のゼミ生に依頼する。
 - 駅からホテルまでの案内は必要か。ホテル内の案内だけにする方法もある。
 - 会場部で2回議論したが、アルバイトを雇うことで決定した。
 - 会場部で決定したことであり、予算が合えば構わない。
 - 今後、定年延長でフルタイム勤務者の実行委員が増えると思う。外部委託することがどうかについては今後の検討課題とする。
- ・木村屋さんからお土産に古鏡3個入り300個を寄付いただけることになった。お土産

を入れる手提げ袋（30 円/袋）を木村屋さんから購入することにしたい。

→手提げ袋の強度を確認して購入すること。

- ・ホテルへ人数をお知らせするために、如松会以外の参加人数は 10 月 14 日（土）までに会場部会長にお知らせする。
- ・総会・親睦会の二次会の会場に関しては、実行委員会として特に用意はしないが、事前に HP に日暮里駅周辺で会場になりそうな飲食店情報を掲載する。各年度幹事のほうで、それぞれ企画、予約など願います。
- ・南高校歌と選曲 3 曲と出席者名簿をしおりのようにして、短冊代わりにして席に置くことを考えている。
 - 例年、出席者名簿は両面印刷で出席者名簿を渡している。表を来賓、招待者（広告主）、裏を一般会員とする。
 - 出席者名簿は、会場部会で用意する。
 - 決算書を式次第の裏に印刷するのはもったいない。
 - 決算書と役員人事は、会報に掲載されているので、スクリーンに映すことでよいのではないか。
 - 決算書を読み上げると時間がかかるので、52 回では紙面で用意することにした。
 - 今年度はスライドとする。
 - 歌詞もスクリーンに映す方法でよいのでは。
 - トラブルがある可能性もあるので、別に用意したい。式次第はコストがかかるので、会場部で用意する。
- ・短冊に氏名を記載して席に置くのか。
 - たいへんな労力がかかる作業であり、テーブルだけを決めて、テーブル内の席は自由席とする方法でよいのでは。
 - 短冊は置かないこととする。
 - テーブルの名前を実行委員が決める。（例えば、月山など山の名前や街の名前など）
 - 出席者をテーブルに割り振り、名札にテーブル名のみを記載して渡すこととする。
- ・歴代レコード大賞を流す時間が 34 分あるが、風景などの映像も流すのか。
 - 映像の音が無いものは、レコード大賞の音を小さくして流す。映像に音があるものは、映像の音を流す。
 - レコード大賞の歌と映像がミスマッチになるのではないか。
 - BGM として会場の邪魔にならない程度に流すので問題ないと思う。ミスマッチになった場合は、会場部の判断で CD を切ることにする。
- ・庄内うたう会のメンバーの中で総会に出席するのは 10 名程度であり、実行委員も歌を応援して欲しい。
- ・タイムキーパーで指示だしする人が必要。
 - 長谷川会場部員が担当する予定である。

- ・総会と親睦会の区切りはどこか。一旦総会を閉めて、懇親会を開催すると思う。
→会務報告が終わったら、総会を閉める。総会の開会宣言が実行委員長になっているが、不要ではないか。
→開会宣言は、総会・親睦会を併せたものとして、会務報告が終わったところで、区切りとして、総会終了と親睦会開催の宣言を入れてはどうか。
→始めの総会・親睦会開会の辞は平淡でよく、親睦会開催の辞は威勢が必要である。
→詳細は会場部会で協議して、総会メールで流す。意見はメールでやり取りする。
- ・総会・親睦会収支予算案は、収入の部と支出の部の金額を合わせること。

6. その他

会報の広告間違いについて

(岡部事務局長)

- ・たいへん残念なことだが、致道博物館の広告が手違いで、今年度のもではなく、昨年度のものが掲載されてしまった。広告を修正した会報を本日配布している。
- ・致道博物館からの指摘を受けて、中里広告部会長が謝罪に伺った。
- ・今後、下記の4点の対応をする。①広告を修正した会報を10部致道博物館に送付する。②広告代は返金する。③HPに広告間違いの謝罪文を掲載する。④総会当日に広告の訂正紙面を出席者に配布する。この対応について、致道博物館のご了承を得た。

(中里陽一)

- ・最後に確認ミスをしたことを申し訳なく思う。
- ・9月14日に57件の広告主のうち53件に対して、広告掲載のお礼、会報、総会への出欠届のハガキを同封して発送した。
- ・9月20日の夜に、致道博物館の酒井忠順館長からメールを受信した。ご招待への感謝、欠席へのお詫び、皆さまへのご挨拶があり、その後、今回の会報・広告を拝見して、たいへん驚愕して、残念であり愕然としたと記載されていた。また、今回広告の掲載間違いがあったことについて、今後のために今回なぜ間違いがあったのかを検証してほしいと書いてあった。
- ・広告の取り間違いは、確認ミスである。現物を突き合わせて確認するのではなく、名簿をもとに広告を確認したため、広告自体が違うことに気が付かなかった。
- ・メールを受けて、岡部事務局長と佐藤雄喜さんに連絡を取って今後の対応を相談して、4つの対応方法を頂戴した。
- ・メールを受けた日に帰省していたので、次の日にアポイント無しでお詫びに行った。佐藤雄喜事さんが、20日の夜のうちに広告を修正してデザインした画面をメールで送付してくれたので、館長に掲載の画面で確認していただいた。
- ・岡部事務局長からいただいた4つの対応をご提示したところ、ご了承を得て、お礼の言葉をいただいた。今後も鶴翔同窓会とはいい関係でいたいこともお話しいただいた。

(佐藤雄喜)

- ・致道博物館からは早々に原稿を受領して、直ぐに作成して確認していただいた。その後、直ぐに修正があることの連絡があったが、最後まで原稿が来なかった。このため、中里広告部会長が致道博物館に連絡したところ、修正無くてよいとのことであった。修正なしの回答に安心して会報を編集したが、初めに広告を入れ替えていなかったことを忘れて、見た目はほぼ同じである昨年の広告を掲載してしまった。
- ・今後は、主要メンバーと顔を突き合わせて、パソコンと依頼書を見ながら 1 件 1 件確認することをしたいと思う。ご迷惑をおかけしたことを申し訳なく思う。

(坂田会長)

- ・以前も同様な広告の取り違いがあった。会報としては、前に踏襲してうまくできた。ただし、念には念を入れていかないと、今回のようなことが起きる。
- ・今回、広告掲載間違いの合った致道博物館 酒井館長から、致道博物館友の会への入会依頼のお話をいただいている。HP にも掲載されているので検討をお願いする。

鶴岡南高校校歌の録音

- ・実行委員会出席者皆が校歌を斉唱した。

次回の実行委員会について

- ・第 8 回（総会前最後）実行委員会
日時：2023 年 10 月 28 日（土）午後
場所：中央区立環境情報センター

— 以上 —

議事録作成：藤田美鈴